

広報 わたらい



しめ縄作り

会場いっぱいには葉独特の香が広がる中で、高齢者学級のしめ縄作りが行われていました。

しめ縄作りと言えば暮れの男達にとつては大切な仕事の一つでしたが、今では買ったものですます家が多くなっています。そこで、この講座は昔ながらに手作りのしめ飾で正月を迎えようと企画されました。

十一月二十七日ここ内城田学級でも、受講者約九十名がこの道四十年の長尾勘吉さん（葛原）らの指導で玄関用の大しめ縄作りに挑戦しました。

葉の扱いは手慣れた人ばかりでも、大しめ縄のより合せやピンとはね上った独特のカーブがなかなか巧くできません。それでも二時間程の作業でほとんどの人が大しめ縄と他にツボキなどを作りました。

町のうごき

61. 11. 30現在

人口	男	4,460	計	9,187	出生	3	転入	10
	女	4,727	世帯数	2,100	死亡	5	転出	22

町長・議長年頭のあいさつ

賀新年

昭和62年元旦



農林業の基盤整備を

本格化

町長 山下 孫一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は町行政の推進にひとかたならぬご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

早いもので町政を担当し、十一年目の新春を迎えることになりました。毎年同じ感慨を繰り返してまいりましたが、今春もやはり同じように、その責任の重大さに身の引き締る思いで、決意を新たにしました次第です。

昨年は円高問題や貿易摩擦等が我が国経済に大きな影響を与え、国鉄改革とともに多くの雇用不安を生みました。

一方、町政においても、行政の無駄を総点検し、効率的な行政を目指して行政改革大綱を定め、向う三年間で改革に取り組みべき事柄を具体的に定めるところです。また第三次総合計画

もこの年にスタートしました。町の将来像をはっきり見定め、その将来像に向って効率的な行政を進めることが必要であります。私は町政を担当するに当たって

かねがね町づくりの原点は人づくりにあり、人づくりは教育にあるという考えから教育環境の整備に全力を注いでまいりました。昨年は内城田小学校の校舎を完成させ、今春には一之瀬小学校の校舎が竣工いたします。

このようにして私の初期の目的も一歩一歩完成へと近づきつつあります。

次いでは、町の基幹産業である農林業の基盤の確立が課題となつていきます。農業の体質を強化するためには何といつても、その生産基盤である農地の整備が必要であります。昨年はこの様な考えに基づき、町一番の穀

倉地帯である一之瀬地区で、農地の基盤整備に着手し、いよいよこの課題に本格的に取り組むことにいたしました。また構造的な不況から脱却できず、生産活動の停滞を招いている林業についても、林道の開設、除間伐

対策等を積極的に進め、五十年、六十年という長い生産サイクルを持つ林業の将来に大いに期待をいたしたいと考えています。

一方、私達の日常生活に最もかかわりの深いのは、何といつても道路整備であります。昭和六十八年には高速道路の伊勢乗り入れが予定され、南勢地方もいよいよ高速道路時代に入ります。

大量に流入する車対策やますます進む車社会への対応のためにも、県道や町道の整備が急がれており、その促進にも全力を傾注する所存です。

歳時記

宝船

「ななきよのおのねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んでも、下から読んでも同じですね。こういうのを回文歌と言います。

江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。

正月には宝船売りが、「お宝お宝」と言いながら絵を売り歩きました。明治時代になってもこの風習があったそうです。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っていました。

七福神とは恵比寿、大黒天、弁財天、毘沙門天、布袋、福祿寿、寿老人をいいます。面白いのは、この顔ぶれは、神さまと仏さまがまざっていることです。

最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んです。この時ももうでる所が、神社と寺と両方まざっています。

謹

地域の特性活かし

時代の波に乗る



町議会議長 西村金右衛門

なお、福祉対策については、社会福祉協議会の活動を中心に幅広い福祉の町づくりを進め、社会的弱者への心の通った福祉対策を講じたいと思っています。また、災害のない安全な町づくりは町行政の究極の目標であります。現在進めている防災行

政無線の建設もこの目的に沿った事業であり、今春には供用が開始されますので、防災安全の確立はもとより町行政の連絡等にも広く活用され、円滑な町政の推進に大いに役立つものと確信しています。

以上新春に当って所信の一端を申し述べましたが、今後とも町議会の皆様と一致協力し、この大計実現のため全力で臨む所存です。

皆様のご指導、ご協力をお願いし、ますますのご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。いさつといたします。

大自然のエネルギーが伊豆大島三原山で大爆発しました。円高による不安定な経済社会は日本列島を揺れ動かし、行政改革財政再建が地方自治体にも大きな影響を与えています。天地人ともに目まぐるしく変動する中で新しい年を迎えました。

本町も幾多の試練を受けていますが、町民皆様の絶大な御協力と御理解により、概ね予定した事業は計画どおり進めております。

御承知のように町民皆様方が会員となっていたいただき発足した社会福祉協議会は、皆さんで明るく生きる喜びを分かち合う社会を

目指してがんばっております。今後の活躍が期待されています。また一之瀬小学校の校舎改築工事も完成間近となり、久具都比売橋の架橋工事も軌道に乗りました。広域行政の一環として進め

町民各位には益々御壮健で新年を迎えられたことと御喜び申し上げます。昨年中は私達町議会に幾多の御指導をいただき感謝に堪えません。本年もよろしくお願いたします。

極めて厳しい財政事情の中で、

ている伊勢度会農業共済事務組合が設立され、南勢広域畜場も完成しました。道路行政は産業文化の向上に不可欠の分野であります。伊勢大宮線の中川大橋架替も決して夢ではなく、伊勢南島線は新しい隧道による抜本的な改修を隣接南島町に働きかけており、サニーロードも間もなく岩坂道まで開通し、昭和六十八年を目標に建設が進められている近畿自動車道への近道として利用が、期待されています。

地域の特性と人情の豊かさを

活かしながら、時代の波に乗り遅れないためにも基幹産業の振興育成に努めなくてはなりません。広大な林野や肥沃な田畑を時代に即応したように整備し、絶えず有機的な活用を図ることは、町民経済の向上に最も大切なことであり、農協や森林組合を核として、町と一体となった行動と研鑽が共存共栄の実を上げるために何よりも重要だと考えています。

力となることと信じます。

明るく住みよい生がいのある

度会町の建設は、町民各位の協

力がなくては到底実現しない大

事業です。そのため町民一人一

人が健康でそれぞれの立場にお

いて、お仕事や勉強にいそしま

れることを祈念し、年頭のあい

さつといたします。



新しいまちづくり

各会計の決算状況

昭和六十年度の各

会計の決算が村山正男、

杉本光郎両監査委員の決算審査

を経て、両監査委員の意見書が添えられ、

去る十二月の町議会の認定に付されました。

ここでは、町の家計簿ともいえるこの決算を

一部角度を変えて分析してみました。

町のほとんどの経費を賄っているのが一般会計です。その歳入では対前年度比十五・三パーセント増の二十四億四千八百八十七万五千円、歳出では十六・七パーセント増の二三億四千四百八十八万八千円になり、実質収支は九千七百六十八万七千円の黒字となりました。しかし、前年度の繰越金を除いた単年度収支は一千二百二十一万三千円の歳入不足となっています。

これはこの年に、大型の投資がかさんだことや後年度の財源対策として一億四千三百九十八万二千円の基金積立てや千三百万五千円の町債の繰上げ償還を行ったためのもので、これらを差引いた実質単年度収支では一億四千二百八十万四千円の黒字となっています。

歳出全体を性質別に分析すると、建設事業費等の投資的経費の比率が最も高く、四十五・一

パーセントとなっています。

内城田小学校の校舍改築事業、新農業構造改善事業による緑茶加工施設の建設、農地の基盤整備、町道の新設改良など新しい町づくりが各地で進みました。

一方、歳入の財源構成を見ると、地方交付税を中心とする依存財源が七十一・二パーセントを占めており、自主財源は二十八・八パーセントと依然苦しい台所事情ですが、その中心である町税は、対前年比七・八パーセントの伸びを示し、徴収率でも九十八・六パーセントと度会郡内でも二番目の好成绩を示しました。

また、事業を行うための町の借入金である町債は、大規模事業が多かったこの年には、対前年度比四十九・七パーセント増の二億一千六百八十万円が借入れられました。これらの中には地方交付税で償還財源のほとんど

41.1%
十億三百六十九千円

13.9
三億四千五百八千円

11.0
二億六千八百三十四万千円

8.9
二億一千六十八万千円

8.4
二億四百六十二万七千円

4.5
一億九百九十万円

3.1
七千六百三十五万五千円

2.6
六千四百八十三万九千円

2.5
六千二百五十四万四千円

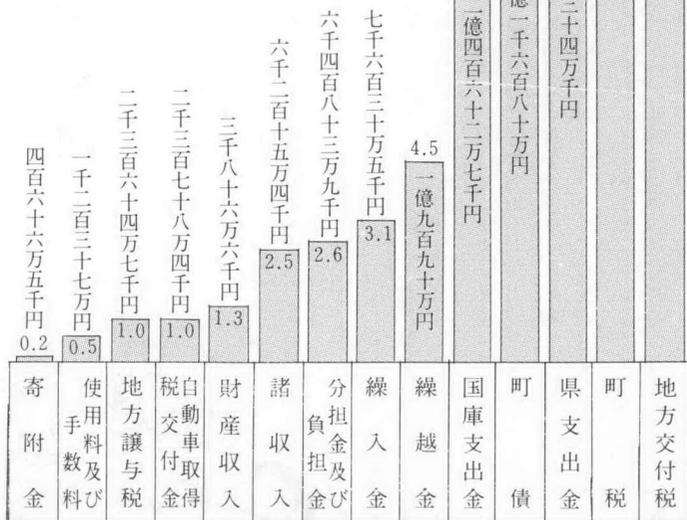
1.3
三千八百六十六万六千円

1.0
二千三百七十八万四千円

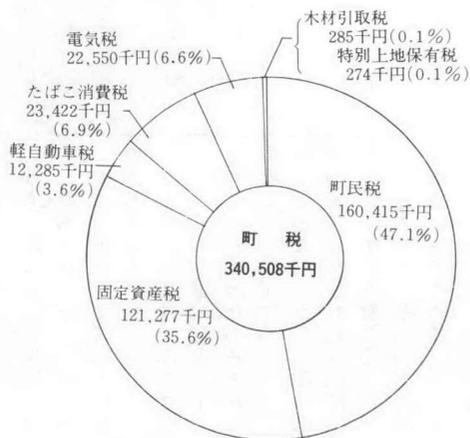
1.0
二千三百六十四万七千円

0.5
一千二百三十七万千円

0.2
四百六十六万五千円



町税の内訳

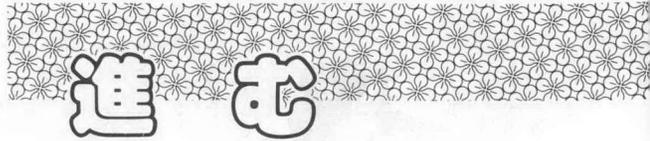


一般会計 歳入

会計別決算状況

単位千円

会計名	収入額	支出額	差引
一般会計	2,441,875	2,344,188	97,687
特別会計			
国保会計	383,138	336,587	46,551
簡易水道事業	147,700	139,550	8,150
住宅新築資金等貸付事業	56,588	56,588	-
老人保険	299,264	296,047	3,217



昭和60年度

が補填されるものもありますが、特別会計を含めた借入金全体の期末残高は二十二億二千八百六万六千円となっています。

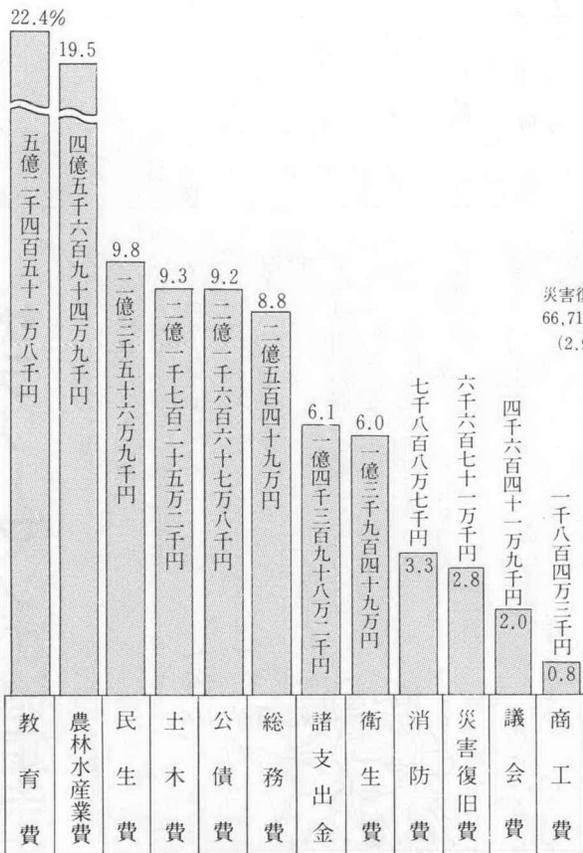
町民の健康を守るために大きな役割を担っている国民健康保険特別会計では、三億八千三百三十三万八千円の歳入に対し、三億三千六百五十八万七千円の歳出で、四千六百五十五万円の剰余金を生みましたが、前年度の繰越金を差し引いた単年度収支は、千七百七十五万四千円の歳入不足となりました。

年々増加する医療費の支払いや国庫補助率の切り下げによる原因が大きく、昭和六十一年度には、国保税率の引き上げを余儀なくされました。

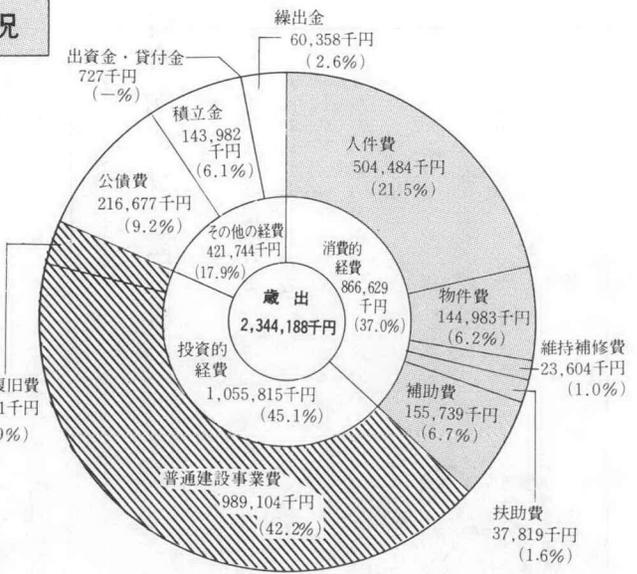
簡易水道事業特別会計では、歳入総額の三十二・一パーセントを一般会計からの繰り入れに依存する財源構成であるが、八百十五万円の剰余金を生み、その五十パーセントの四百八万円を後年度の財源対策として、基金へ積み立てました。

その他、住宅新築資金等貸付事業特別会計や、老人保健特別会計においても厳しい状況下ですが、それぞれの目的に添った事業を行い、適正な決算を完結することができました。

性質別歳出状況



一般会計 歳出



財産

土地	3,127,062㎡
(内 山林)	3,002,928㎡
建物	26,345㎡
有価証券	1,654千円
出資による権利	11,400千円
物品 (自動車)	25台
基金 (現金)	571,416千円

冬の寒さから水道管を守る

凍るところには保温対策を

気温が摂氏マイナス四度以下になると水道水が凍ったり、水道管が破裂したりします。

特に危険な箇所は水道管がむき出しになっているところですが、また水道管の位置が北向であったり、風当りの強いところも危険です。

水道の凍結を防ぐには、水道管や蛇口の部分に保温材を巻き付けてください。手近かなものには布、なわ、フェルト、コモンなどがあり、保温材が濡れないようにビニールテープなどを巻いてください。

それでも破裂した時は、止水栓をしめて、破裂した部分に布かテープをしつかり巻きつけ、応急手当をして、公認業者へ修理を依頼してください。



また、水道が凍って水が出ないときは、蛇口にタオルをかぶせ、その上からゆつくりとぬるま湯をかけてください。この際熱湯はかけないでください。

公認業者のお問合せは役場環境施設課へお尋ねください。

新しい民生・児童委員 18名を委嘱

新しい民生・児童委員が次のとおり決まりました。

民生委員推せん会の推せんにより、去る十二月一日付で厚生大臣からの委嘱状が交付されたもので、民生委員協議会において、各委員の担当区域も次のとおり決まりました。

氏名	担当区域
繩手 行雄	注連指
山根 治田	口
辻本久美子	麻加江・坂井
中村 五郎	長原・立花
早川慶次郎	鮎川・立岡・大久保
清水 克子	平生・牧戸
大西 清棚	橋
伊藤 悦子	大野木・葛原
東出 建吾	大野木・葛原
中村 武司	下久貝・上久貝
玉村 之郎	田間・当津・茶屋広
小林 淑子	川口・栗原
橋本 佐一	中之郷・日向・五ヶ町
奥野 市雄	小川・火打石・駒ヶ野
奥田 一江	小萩・柳
森田 あさ	市場・脇出
野田 仁	和井野
長谷川常夫	南中村・川上

駐在所より一言

今年も余すところ、あとわずか、あわただしい時期になりました。こんな時にこそ、今ひとつ気をひきしめて、お年よりや青少年を守りたいものです。交通事故に気をつける事は、再三再四申し述べておりますが、年末年始に向って、お年よりの餅による窒息事故に注意してください。又、就職、進学される方の御父兄におかれましては、準

サラリーマンの確定申告

サラリーマンの場合本人にかかる所得税は年末調整によって精算されますから、通常確定申告は必要ありません。

ただし、次のような人はサラリーマンでも確定申告が必要です。

- ① 給与所得の収入金額が千五百万円を超える人
- ② 給与所得や退職所得以外の所得の合計額が二十万円を超える人
- ③ 二箇所以上から給与をもらっている人
- ④ 同族会社の役員やその親族などで、その会社から給与のほかに貸付金の利子、店舗、工



また、次のような人は、確定申告をすることによって、納めた税金ががえってくる場合があります。

- ① 医療費の多い人
 - ② 金融機関や住宅金融公庫等から借入れをし、マイホームを建てたり、購入した人
 - ③ 災害や盗難にあった人
 - ④ 年途中で退職して、その後再就職していないため年末調整を受けなかった人
- 詳しいことは最寄りの税務署か税務相談室でおたずねください。

たばこは町内で
買いましょう

剣道大会

小・中学生ら百二十名が参加

個人戦と団体戦で優勝を争う

昭和六十一年度度会町剣道大会は、体育協会の主催により、去る十一月三十日(日)に町民体育館で小・中学生ら百二十名が参加し開催されました。試合は小・中学生の部は団体と個人戦で優勝を争い、一般の部は二組に分れて紅白戦を行いました。

当日の成績は次のとおりです、

◇小学生団体の部

- 優勝 小川郷小Aチーム
- 準優勝 中川小チーム
- 三位 一之瀬小Aチーム

◇小学生個人低学年の部

- 優勝 野呂 賢(一之瀬)
- 準優勝 内山善文(小川郷)
- 三位 西山吉己(〃)

◇小学生個人高学年の部

- 優勝 竹内淳一(内城田)
- 準優勝 浦田昌人(小川郷)
- 三位 青木宣尚(一之瀬)

◇中学生男子個人の部

- 優勝 井口圭司
- 準優勝 西村 敦
- 三位 鍋島邦治

◇中学生女子個人の部

- 優勝 竹内美紀
- 準優勝 西村典子
- 三位 中西麻貴

◇一般紅白戦の部

- 優勝 紅組



公民館だより

川へだて

しんぐる舞の獅子の笛

……新年おめでとうございます川をへだてて、風に乗ってわたつて来る獅子の笛は、新年のころを盛り立ててくれますが、昨年から、永年この地方の村々を巡っていた獅子舞が来なくなりました。

淋しいことですが、これも時代の流れで、致し方のないことでしょうが、テープのしんぐる

舞の曲をかけて、新年を祝いたいと思います。

……公民館のご用始は、一月五日です。

人住まぬ邊りの地図を読み始めむ 瓜 人

公民館の図書室をご利用いただければ、ありがたいことです。

このほか陶芸教室の窯始め、書道教室の書初めなど新年を期して、公民館の利用をおねがいします。

……公民館の休日は、祝祭日

……公民館の休日は、祝祭日

と水曜日です。水曜日が休館日で日曜日は、開館していますので、まちがいのないようにおねがいます。

また、臨時に休む場合もありますので、日曜日以外の日に休館しているときは、教育委員会に申し出て下さい。

……ことは、一九八七年、丁卯(ていぼう)の年、うさぎの年です。よい年でありますことをお祈りして、初日よりいたします。

(Y・S)

年末年始のゴミ 自宅で保管

例年年末にはゴミの量が急増し、美化センターではその処理に大変苦労します。最近では、不用品回収業者もあまり回ってきませんが再利用の可能なものは出来る限りこれら業者に出していただき、ゴミの減量にご協力ください。また、美化センターも年末

始の次の期間は休みになります。この間のゴミは自宅で保管していただき、収集場所へ出さないでください。

……公民館の休日は、祝祭日

広報文芸

茶の美句会抄 野田翠楊選

石路咲くや碑ごしに荒ぶ能登の海

老人の会話ちぐはぐ暮早し

葉のむ刻ばかり来て暮早し

長原 中西松窓子

無事終へし運動会の芥焼く

暮早し飲屋に映る人の影

文化の日下刈り鎌を買ひ求む

美容院出てきつつきの音きこゆ

初霜や運勢欄を見て出づる

暮早き能登路の旅や友と来て

九州場所の千秋楽や暮れ早し

不器用でとまどうばかり暮早し

茶屋廣 河村 つね

茶屋廣 河村 つね

お知らせ版



成人式には平服で参加を

実行委員会が今年も呼びかけ

町では今年も一月十五日の成人の日に、新しく成人とされる方々を対象に成人式を行います。

すでに該当者には案内状が送付されたと思いますが、今年度の成人式には度会中学校の第六回卒業生が該当し、この卒業生であれば町外へ転出している人も参加できます。

また、「昭和六十二年成人式実行委員会」では、今年も式典終了後、立食パーティーを計画しており、参加者は必ず平服で参加するよう呼びかけています。

◇日時 昭和六十二年一月十五日

◇場所 度会町中央公民館

◇対象者 昭和四十一年四月二

日から昭和四十二年四月一日までに生れた方で、町内に住民登録をしている人と度会中学校の第六回卒業生。

駅伝 町内一周コースで1月25日 奮って参加してください

新春恒例の町民駅伝大会は、一月二十五日(日)に開催されることになり、この大会を主催する体育協会では、参加チームの募集を行っています。

今年のコースは南中村を出発し、町道川南線を経て麻加江で折返し、県道を下って度会中学校のゴールへ至る、ほぼ町内を一周するコースが予定されています。

年末年始の 応急診療所

年末年始の応急診療所が次のとおり開設されます。

診療は内科と小児科のみで、受け付け時間は次のとおりです。

また、休日や夜間にも最適医療機関を迅速に紹介する制度として、救急医療情報システム(一九九一いい救急制度)がある。

診療月日	受付時間
12月28日(日)	午前 9:30~11:30 午後 1:00~4:30 午後 6:30~9:30
12月31日(木)	午後 6:30~9:30
1月1日(木) ~	午前 9:30~11:30 午後 1:00~4:30
1月4日(日)	午後 6:30~9:30

場所 伊勢市岩瀬1丁目8~18
電話 0596-25-8795

ります。もしもの時はこの制度もご利用ください。
医療情報システム
電話 ○五九六一二八一 救急

一月十日は「110番の日」

一月十日は「110番の日」です、110番は住民と警察を結ぶホットラインとして定着し、県下で年間三万五千件の利用があります。

被害者になったときはもちろん、事件・事故を「見たり」「聞いたり」したときも110番をお願いします。

通報には「いつ」「どこで」「何があったか」「犯人は」「あなたの住所・氏名は」等五つのポイントを要領よく通報してください。

戸籍の窓

おめでた

十二月中に届出のもの
氏名 父名 続柄 字名
西田 晃太 宏 二男 牧戸
荻田 結香 己先 長女 日向
橋本 梓 清 二女 中之郷

おくやみ

十二月中に届出のもの
氏名 年齢 字名
八木きぬ枝 72歳 中之郷
長谷川吉藏 84歳 南中村
坂本 良市 63歳 麻加江
山北喜三郎 52歳 平生
山本 とめ 82歳 棚橋

